

経済性・環境に配慮した、簡単・確実なグラウト材注入工法

斜面对策用パッカー工法

斜面对策用パッカー工法

斜面对策工法として地すべり等を抑止するグラウンドアンカー工や表層崩壊の防止を目的としたロックボルト工に於いて、注入打設時に漏水が著しい亀裂性岩盤や湧水箇所では、グラウトの流出により定着が困難になるケースが数多く見受けられます。

弊社の保有するパッカー材は、このような岩盤・地層への充填注入が確実に出来ることから定着不良の防止化が図られ、周辺地盤への汚染防止にも効果が見込まれます。

また、グラウト材の注入ロスが極めて少なく、シンプルな構造による取付・施工方法の簡便さから経済性においても向上することが期待できます。

斜面对策用パッカー工法として、各規格に対応したグラウンドアンカー用のシームレスパイレンパッカー®とロックボルト用のロックボルトパッカー®を各種、取り揃えています。

シームレスパイレンパッカー

シームレスパイレンパッカー標準仕様

区分	品名	織り巾	形状	材質
呼径90用	SPW-140	140mm	シームレス	ポリプロ ピレン 繊維
呼径115用	SPW-160	160mm		
呼径135用	SPW-180	180mm		
呼径146/165用	SPW-260	260mm		



注入前のシームレスパイレンパッカー



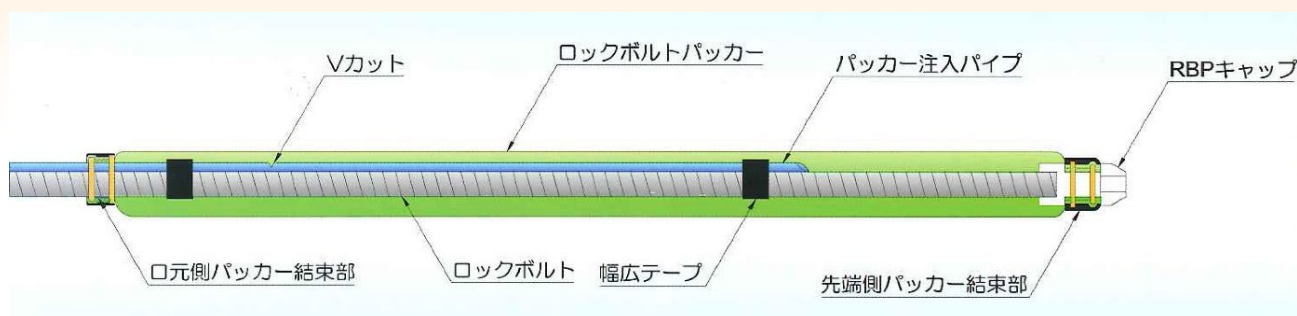
注入後のシームレスパイレンパッカー



国土防災技術株式会社

ロックボルトパッカー

ロックボルトパッカー標準構造図



ロックボルトパッカー標準仕様

区分	品名	織り巾	形状	材質
DHD65システム	RBP-100	100mm	シームレス	ポリプロピレン 繊維 + 綿糸
DHD3.5システム	RBP-120	120mm		
RPD90システム	RBP-140	140mm		
RPD115システム	RBP-160	160mm		



注入前のロックボルトパッカー



注入後のロックボルトパッカー

※シームレスパイレンパッカーとロックボルトパッカーの膨張最大径は注入圧0.2MPa時に、膨張最大径 $= (\text{織り巾} \times 2 / \pi) \times 1.3$ となります。(編織しているためあくまでも目安値であり保証値ではありませんのでご了承下さい)